

お客様情報

YOKOGAWA ◆

横河レンタ・リース

横河レンタ・リース株式会社

東京都新宿区西新宿 1-23-7 新宿ファーストウエスト



横河電機と芙蓉総合リースの合併会社として1987年に誕生した横河レンタ・リース株式会社。IT機器から計測器など幅広い最新鋭機器を貸し出し「所有から利用へ」をコンセプトにレンタル事業を展開、ITソリューションの提案から保守までを手掛けるシステム事業も行っている。

導入製品

導入効果



わずか**4カ月**で
実装完了



大容量データでも
安定の
処理能力



クラウド-オンプレ連携を
セキュア
接続

ハイブリッドクラウド・マルチクラウド環境に必要不可欠なデータ連携基盤を構築

IT機器や計測器のレンタルを中心に事業展開している横河レンタ・リース株式会社では、基幹システムの刷新に併せて周辺業務のプラットフォームとして使われていたIBM Notes(以下、Notes)のリプレースを計画し、オンプレミスとクラウド環境を連携するハイブリッドクラウドやクラウド同士を連携するマルチクラウド環境をセキュアな形で実現するための環境づくりを行った。その中核となるデータ連携基盤として採用されたのが「DataSpider Servista(以下、DataSpider)」と「Thunderbus」だ。

背景 事業基盤のクラウドファースト化を目指して

レンタル事業を手掛ける横河レンタ・リース株式会社では、ハードウェアからソフトウェア・サービス提供への事業展開とともに、自社のみならず他社がサービス提供の際に必要な機器の選定から調達、デリバリー、管理に至るライフサイクルのスキーム提供などを事業戦略として掲げており、そのためにはベンチャーのようなスピード感を持ってITの活用を進めていく必要があった。また、基幹システム刷新の時期を迎えており、「最適なものを選択して新しいものを取り入れていく“クラウドファースト”的なスタンスへの脱却が必要だった」と語るのは執行役員 情報システムセンタ長 高倉敏行氏だ。

そこで同社では、老朽化を迎えたSystem i (旧 AS/400)上の基幹システムや周辺業務として緊密に連携していたNotesの刷新を計画し、クラウドサービスを利用した新たな業務基盤を検討することに。そこで課題となったのが、従来のレガシーなオンプレミス環境とクラウドをはじめとした新たなシステムとの連携だった。「オンプレミス とクラウド、クラウド同士を円滑かつ安全にデータ連携できるような仕組みが必要であった」と高倉氏。

また、既存環境でのシステム間連携の状況については、「運用や方針もバラバラで、複雑に絡み合っていた」と同センタ システム開発運用部 第一課 早田明雄氏は当時を振り返る。一部にはデータ連携基盤となりうるEAIツールも導入されていたものの、数万件の処理を行うたびに途中でメモリがいっぱいになり、パフォーマンス的に問題になっていたという。「メモリが落ちないよう、ひと手間加えざるを得ないなど、データ連携の基盤として課題を感じていた」と早田氏。

導入 セキュアな通信を実現、圧倒的なパフォーマンスが決め手

新たなデータ連携基盤を模索するなかで早田氏が注目したのが、データ連携基盤「DataSpider」だった。「トリガーの数や変換する機能の数など、データ連携ツールが本来持つべき十分な機能が備わっている印象でした。懸念だったパフォーマンスについても安定した状態で利用できることが検証結果から明らかになった」と早田氏。また、Notesの移行先にクラウドサービスを利用することになり、オンプレミスの基幹システムから随時クラウドへデータ連携を行う必要があった。そこで新たに紹介を受けたのが「Thunderbus」だった。紹介を受けた時点では製品化する前の段階にあったものの、コンセプト的には求めていたもので、開発パートナー(NDIソリューションズ)を含めた関係会社がみんな腹をくくってくれたという。実際に利用するクラウドサービスとの連携をデモで見たところ、パフォーマンス的にもオンプレミスのWebシステムとのやり取りのような快適なものだった。

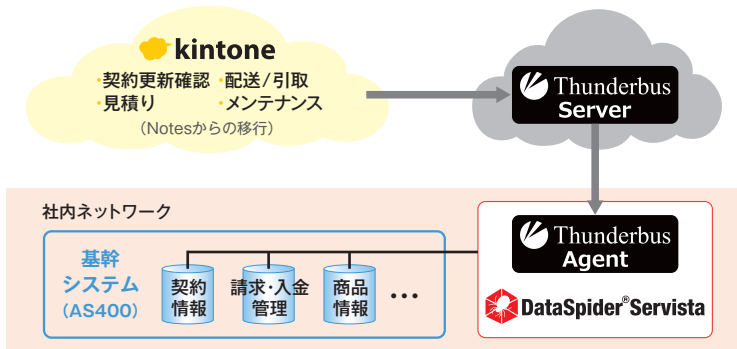


横河レンタ・リース株式会社
執行役員
情報システムセンタ長
高倉 敏行 氏



DataSpider 中心の連携基盤なら、あらゆる接続先との連携システムを簡単に構築できます。しかも、設計から開発、運用まで高い品質で。

横河レンタ・リース株式会社
情報システムセンタ
システム開発運用部 第一課
早田 明雄 氏



レンタル管理システム概略図

DataSpider ServistaのHTTPトリガーと、クラウド上にあるkintone、Thunderbusを組み合わせることにより、オンプレミス側にある基本契約情報、請求・入金管理と、クラウド上にある見積りや配送/引取情報、メンテナンス情報とのデータ連携が、専用線や特別なハードウェアの必要もなく実現できた。

効果 シンプルさにこだわったデータ連携基盤を構築

現状では、DataSpiderを中心に基幹システムとNotesに代わるクラウドサービスであるkintoneを連携させており、クラウドとのリアルタイムな連携はThunderbusを経由するなど、同社のデータ連携基盤の中核としてDataSpiderが運用されている。Notesマイグレーションに関するデータ連携は、わずか4カ月という短期間のうちに製品決定から仕様策定、実装まで行い、17本のインターフェースを作成することに成功。現在では35を超えるまで膨らんでおり、将来的には社内にあるさまざまなシステム同士を連携するハブとして機能させる計画だ。

導入当初からこだわっていたのは、シンプルに作ることでと早田氏は力説する。「設計から保守に至るライフサイクルすべてをシンプルにしている」。開発標準や基本ポリシーの設定などを推し進めたことで、ThunderbusとDataSpiderを使ったクラウドと基幹システムのリアルタイムな連携では、取得したいSQLと返却するJSONの形さえ決まっていれば、ドキュメントを残してテスト工程をきちんと踏んでも3時間あまり、プロトタイプを作るだけならわずか1時間で環境が用意できるというから驚きだ。

DataSpiderについて早田氏は、その使い勝手の良さを高く評価している。「ノンプログラミングが徹底されており、アイコンを並べていだけで通常のプログラムを書くような感覚でさまざまな処理が実装できる。逆に、ログ出力など面倒なところは自動的にツール側にお任せできる」と評価する。Thunderbusについても、ハイブリット環境を意識することなく簡単に使える点が魅力だという。「1行程程度記述するだけで、オンプレとクラウドをセキュアな経路で簡単に連携してくれる」と早田氏。また、サポート体制についての評価も高い。「アプレッソのエンジニアの協力なしにはここまで短期間で実装できなかった。サポート窓口もとても優秀な方が揃っている印象です。DataSpiderを採用してよかった」と早田氏。

今後については、「開発標準やテンプレートなどをさらにブラッシュアップし、他のメンバーでも開発できるようなものにしていきたい」と早田氏。また、今でも個別にシステム同士が連携している部分も残っているため、できる限りDataSpiderを中心にデータ連携基盤を整備していきたいと今後について語っていただいた。

- DataSpider Servistaは、株式会社アプレッソの登録商標です。
- HULFT、その他HULFT関連製品は、株式会社セゾン情報システムズの登録商標または商標です。
- UNIXは、The Open Groupの登録商標です。
- Windows, Azure, Excellは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 記載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本カタログに記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示(TM、®)を付記していません。

HULFT [お問合せ先]
株式会社 セゾン情報システムズ
HULFTフリーダイヤル ☎0120-80-8620
※利用時間 9:30~17:00(土・日・祝日および年末年始を除く)

HULFT事業部
〒170-6021 東京都豊島区東池袋3-1-1
サンシャイン60 21F
TEL 03-3988-5301 FAX 03-3980-4830

中部事業所
〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-14-19
住友生命名古屋ビル 21F
TEL 052-588-5591 FAX 052-588-5592

HULFT Pte. Ltd.
80 Raffles Place, UOB Plaza 1, #36-15
Singapore 048624
TEL +65-6248-4625 FAX +65-6248-4501

西日本事業所
〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-5-16
肥後橋MIDビル 4F
TEL 06-6479-1151 FAX 06-6479-1152

九州サテライトオフィス
〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-19-27
九動博多駅前ビル
TEL 092-434-4527 FAX 092-434-4528

HULFT, Inc.
1820 Gateway Drive,
Suite 120 San Mateo, California 9440480
TEL +1-650-393-4930

世存信息技术(上海)有限公司
中国上海市长宁区天山西路1068号D栋3楼B单元
TEL +86-21-6239-9201 FAX +86-21-6239-9321

URL www.hulft.com e-mail info@hulft.com

このカタログの記載内容は、2017年8月現在のものです。本カタログの記載内容は予告なく変更することがあります。